

第6回 調布市総合計画策定産学官連携会議 議事要旨

1 日 時：令和4年5月25日（水）15:00～16:30

2 場 所：オンライン（Zoom）開催

3 出席者：

【委員】

小柳会長（調布市 行政経営部）

佐藤副会長（アフラック生命保険株式会社）

相原委員（東日本電信電話株式会社）

大前委員（特定非営利活動法人調布市地域情報化コンソーシアム）

二羽委員（京王電鉄株式会社）

森倉委員（国立大学法人電気通信大学）

（順不同）

【事務局】

行政経営部）永井次長兼企画経営課長

行政経営部企画経営課）伊藤計画調整担当課長，長井主幹，村岡課長補佐，栗野係長，
森係長，本間行政実務研修員

4 議 題：

- (1) 開会
- (2) 市民会議の進捗について
- (3) 次期基本構想について
- (4) 次期基本計画について
- (5) その他
- (6) 閉会

5 資 料：

【資料1】市民会議中間報告会の開催結果

【資料2】0427分科会1資料

【資料3】0427分科会2資料

【資料4】0427分科会3資料

【資料5】【共通テーマ】防災・防犯

【資料6】各社ヒアリング項目

議 事：

1 開会	
(事 務 局)	今回はオンライン開催とする。 会議の内容について、後日議事要旨を公開する。
2 市民会議の進捗について	
3 次期基本構想について	
(事 務 局)	・ 3月27日の市民会議中間報告会について【資料1】を提示し説明。 ・ 3月27日の市民会議中間報告を踏まえた各分科会での検討内容を【資料2】【資料3】【資料4】で、また、共通テーマである「防災・防犯」について【資料5】で説明。また、次期基本構想・基本計画の全体構成検討イメージを説明した。
(委 員)	意見・質問 ①基本目標3の「誰一人取り残さない みんなで共に生きるまち」というのは抽象度が高いと感じた。 ②健康づくりについては、高齢化が進めば健康づくりが叶わなかった人も出てくるが、病気の人も笑顔で生きられるまち、という視点も必要だと感じる。 ③基本計画については、フレームワークが多層にわたっていて、分野別計画とどのようにかみ合っているかイメージしにくい。 ④「4つの重要な視点」について、パラハート・DX・カーボンニュートラルの3つは「テーマ」、産学官連携は「仕組み・手段」なので、市民が見た際に理解できるかわからない。 ⑤DXは幅広い概念だが、「行政のDX」か「市民活動のDX」か「全体なのか」が市民に分かりやすく示した方が良いと思う。
(事務局回答)	②健康づくりについては「自分に合った健康づくり」という視点で取り組んでいきたい。 ③フレームワークについては、頂いた意見も踏まえて引き続き検討していきたい。 ④頂いた指摘も踏まえて引き続き整理をしていきたい。 ⑤基本構想が固まって、施策の検討を進めるなかで内容を精査していきたい。
4 次期基本計画の策定について	
(事 務 局)	今後のスケジュールについて事務局より説明。各委員から実施したい施策等について、【資料6】の内容を踏まえて6月末までを目途に意見を出してほしい旨説明。なお、総合計画策定推進委員は、有識者から構成されている。
5 その他	
(委 員)	委員が、近隣市や類似性のある都市の総合計画について独自に調査・分析したので、その内容を共有。 意見・質問 ①一目で「調布市の計画だ」とわかるようなメッセージが重要。人口増は大きな強み。他の自治体との比較で課題となっている項目を強化していく等の対応が重

<p>(事務局回答)</p>	<p>要。</p> <p>②自治体ごとの人口増減をコロナ前とコロナ以降に分けて分析している。2021年は中央・台東・墨田以外の20区で人口減少，調布・三鷹・武蔵野の23区隣接市や鉄道利便性の高い市では人口増。コロナ禍で在宅勤務が進む中，調布市の不動産・住宅賃貸は好況であり，このような視点も取り入れた方が良い。</p> <p>③近隣自治体の中で，どの都市を競合相手と認識しているか知りたい。</p> <p>④全国的には調布市の知名度は必ずしも高いとは言えない。全国的に「これぞ調布市だ」と認識できるものがあまり見つからない。わかりやすいキャッチフレーズのようなものがあってもよいのではないか。</p> <p>③差別化というよりは，調布市らしさ・調布ならではの魅力を発信していくように取り組んでいきたい。</p>
<p>5 その他・事務連絡</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・次回(第7回)は7月後半の開催を予定。詳細は改めて連絡する。 ・本日の議論については議事要旨を公開する予定。
<p>6 閉会</p>	